



児童家庭支援センター

ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園

発行日：平成29年11月27日【第19号】

全国児童家庭支援センター研究協議会

石川大会

臨床心理士

しろた ゆず
白田 柚子

10月5日(木)・6日(金)、石川県金沢市にて全国児童家庭支援センター研究協議会が開催されました。ファミリーステーションいなみえん職員一同は、大会を運営する実行委員として大会に参加し、全国各地の参加者の方達と交流させていただく機会をより多く得ることができたと感じています。

今回は大会参加者としてではなく、実行委員として見えていた石川大会について、参加した皆様にも、参加できなかった皆様にも紹介させていただければと思います。

* 大会冊子表紙の写真 *



大会冊子表紙の写真は、こども家庭支援センター金沢（享誠塾）の職員の方に、石川県各地の写真を撮っていただきました。こちらの写真には石川県の児童家庭支援センター3施設がそれぞれ所在する地域が写っています。

こども家庭支援センターがある金沢市からは、兼六園のシンボルとも言われる徽軫灯籠、世界で最も美しい駅に選ばれている金沢駅の鼓門、古い町並みが楽しめるひがし茶屋街、加賀百万石で有名な前田利家公が居城としていた金沢城。あすなろ子育て広場がある能登地方からは、空海が佐渡から能登に渡った時、最初に見つけたと言われる見附島。ファミリーステーションいなみえんのある加賀地方からは勅使河原宏氏がデザインしたモダンなデザインが美しいあやとりはし。

6つの写真は前田家の家紋でもあり、金沢市の「市の木」ともされる梅の花に見立てて並べてあります。参加者の皆様へ、石川県の3施設がどのような地域に所在しているのか伝えたいという意味も込められた表紙となりました。

* 水引に込められた思い *

大会初日には、参加者の皆様の座席に「ようこそ石川へ」と書かれたウェルカムカードを置かせていただきました。カードに添えられた色とりどりの飾りは「水引」と言う金沢市の伝統工芸品です。水引には様々な結び方がありますが、大会では「あわじ結び」という種類を選ばせていただきました。固く結ばれ、ほどくことが困難なあわじ結びには、末永くお付き合いしたいという意味があります。参加者の皆様を、自分達の手でおもてなしたいという気持ちも込めて、3施設の職員がそれぞれ手作りいたしました。

金沢の伝統工芸とはいえ、水引を作るのは初めてという職員ばかり。苦戦しながらも一生懸命作りました。「可愛い」と多数のお褒めの言葉をいただいたり、余分に作っていた分を持ち帰ってくださる方もいらしたりと、参加者の皆様へ気持ちが届いたようで嬉しく感じます。



次ページへ続く➡

* ホテルからの景色 *

大会が開催されたANA金沢ホリデイ・イン金沢スカイの最上階では、金沢市街を一望することができ、休憩等の合間に景色を楽しまれている方も多く見受けられました。幸いなことに天候にも恵まれ(「弁当忘れても傘忘れるな」という言葉があるくらい石川県は雨の日が多いんです)、爽やかな秋晴れの景色が望めました。

また、偶然にも大会前日は十五夜であったため、夜は綺麗な満月を見ることができました。グループ討議中、「あ！すごい綺麗な満月！」と気付き、討議を一旦中断させてグループの皆様で満月を眺め、楽しんでいただく姿も見受けられました。



* 情報交換会パフォーマンス *

1日目のプログラム終了後は、同会場にて情報交換会を開きました。自分達の施設の近況報告をされたり、大会1日目の感想を話されたりと、各テーブルにて話に花を咲かせている皆様の姿が拝見できました。

また、パフォーマンスとしては、1つ目は金沢の伝統的なおもてなし・金沢芸鼓を、2つ目は児童養護施設の卒園生の進学先や、多くの児童養護施設職員の出身校である金城大学・金城短期大学ダンス部のダンスを披露していただきました。美しい舞いと音を奏でる芸鼓と、フレッシュさ溢れるダンスはそれぞれ見ごたえのあるもので、皆様には盛り上がりいただけたかと存じます。石川県に住む私たちも、なかなか見ることでできないパフォーマンスに驚きと感動があり、協力していただけた方々に心から感謝いたしました。



* おまけ～金沢のお菓子～ *

大会前に行なわれた役員会では、金沢うら田の「起上もなか」をお茶菓子としてお出ししました。「起上もなか」は、金沢の希少伝統工芸に指定されており、縁起ものとして親しまれてきた郷土玩具の加賀八幡起上り人形をモチーフにしています。可愛らしい見た目や「起上り」という縁起の良い言葉からは、子どもの誕生や婚礼の祝い、新年やお見舞いの贈り物として石川県の人たちが用いることも多いお菓子です。

他にも石川県には美味しく可愛らしい和菓子、洋菓子が多数あります。参加者の皆様は何をお土産に購入されたでしょうか？



大会を終えて

全国各地から多数の参加者をお迎えすることができたことを、実行委員として心から嬉しく感じました。後日、大会アンケートを拝見いただきましたが、多くの方からお褒めの言葉を頂いており、心より感謝申し上げます。皆様のご協力がなければ、大会を開催することは出来ませんでした。また、ファミリーステーションいなみえんとしては、同じ実行委員ですが、「こども家庭支援センター金沢」「あすなろ子育て広場」の各職員の方々に多くのことを助けていただきました。わずか3施設で大会を運営できたのは、施設という枠を超え、1つのグループとして動くことが出来たからだと思います。実行委員として参加したことによって、私は同県という地域のつながりの強さ、大切さを体感することができました。この経験が、今後の業務に繋がるようこれからも頑張りたいと思います。



学童だより

学童支援員

うえなか
上中

ゆうか
柚花

子ども達の遊びを見ていると、友達のを真似して遊びだすことがよくあります。幼児期から学童期にかけ友だちや周囲の大人の真似をして、その積み重ねでたくさんの事を学んでいく事ができ、真似をするということは、とてもよい経験だと思います。

学童保育では時折、真似をして楽しんでいる子、真似をされて嫌がっている子がいます。真似をされる側にとって、どのような影響があり、支援員としてどのように関わっていけば良いかを考えていくべきだと思います。

真似をする側が、真似をしてみたいと思うきっかけとして「楽しそう」や「私もできるようにになりたい」などの興味や憧れがあります。興味や憧れの対象として自分の行動が認められるという経験は、真似をされる側の子どもの自信に繋がるでしょう。よって、支援員としても、真似をされた側の子ども達に認めてあげるような言葉がけや、他の子ども達に認められていると実感出来るような環境づくりを大切にしていきたいと思います。

そして真似をする側もされる側もどちらも、たくさんの学びが得られるよう、子ども達と関わっていきたいと思います。



季節のハナ通信

相談員兼里親支援専門相談員

かみで ようこ
上出 洋子

当センターの花壇にはいちじくの木があります。毎年たくさんの実をつけてくれますが、今年も例年に負けないくらいたくさんの実をつけてくれました。いちじくタルト、いちじくケーキなどスイーツでもとても人気のあるいちじくなので、センター前のいちじくの実がなるのを心待ちにしている方がたくさんいます。私もそのなかのひとりで、持ち帰ったいちじくをサラダやヨーグルトに入れて楽しみました。来年はスイーツにも挑戦してみたいなと思っています。

いちじくは「無花果」と書きますが、実際に花が咲かないわけではないそうです。実の中に無数の白い花を咲かせますが外から見えず、花が咲かないように見えるからそう書くそうです。この話から“人は見た目によらぬもの”ということわざを思い出しました。人、物、事をつい外側から自分のものさしで判断してしまうことがあります。外側からだけではわからない内側にある部分を含めた広い視野で、いろんなことを判断できるようにしていきたいと思います。



今年一年の反省

副理事長

おもて 表 敬喜



早いもので、今年もあと1ヶ月となった。去年の事がまるで昨日の事ようだ。去年も同じように感じ、これではいけないと一日一日大切にしようと考えていたのだが、なかなか難しい。今年1年色々な出来事があり、新しい事にチャレンジしたり、色々な事をやってきたつもりなのだが、何故このような感覚になるのか不思議である。考えてみると、最近では自分で本を買って読んだり、自主的に講演会に参加したりしていない。新しい知識や見識を得ていない事に理由がありそうだ。自分で本を買ったり、講演会に参加したりするのはお金も労力もかかるので疎かにしがちだが、学生の頃のように充実した時間を過ごすためには必要な事ではないかと思う。幸い、今は読書の秋である。これからでも、もう少しケチケチせず、色々な知識を得られるよう心がけてみたいと思う。

今後の予定

11月27日（月）山代地区子どもを育てる会（月定例）
12月11日（月）施設心理士会（月定例）
12月15日（金）親の会（月定例）
12月19日（火）子ども支援連絡会（月定例）
11月30日・12月14日・28日（木）
山代出張相談（※11月は第4⇒第5に変更）
※12月30日（土）～1月3日（水）は閉所です。

相談担当

曜日	一般相談担当	心理担当（要予約）	
	上出・森井	浅田	白田
月	9時～17時		9時～17時
火	9時～17時		13時～21時
水	9時～17時		13時～21時
木	9時～17時		13時～21時
金	9時～17時		9時～17時
土	9時～14時半	10時～17時	9時～14時半
日			

平成29年度相談件数統計

	4/1～10/31
電話相談	92件
来所相談	206件
訪問相談	317件
心理療法等	115件
メール・手紙・その他	0件
合計	730件
児童相談所からの 受託による指導	160件

【山代出張相談】

<場所>

山代ファミリーサポートセンター

<日時>毎月第2・第4(木) 14:00～16:00

連絡は当センターまで

【相談ダイヤル】

月曜～土曜/9:00～17:00

0761-75-8889

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889 FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp

HP <http://www.inamien.jp>